

## 交渉の議事要旨

(開催日時)

平成29年8月31日(木) 13:10~14:06(56分間)

(開催場所)

函館開発建設部2階会議室

(出席者)

当局側(函館開発建設部)

菊池 一雄(函館開発建設部長)、高薄 一敏(函館開発建設部次長)、  
光野 章仁(総務課長)

職員団体側(全北海道開発局労働組合函館支部)

佐藤 豪(執行委員長)、山口 聖恵(書記長)、河江 亮一(執行委員)、  
敦賀 崇晶(執行委員)

(議題)

(2018年度勤務条件改善に関する要求書)

当部における超過勤務の縮減について

(要求書に対する回答)

要求書のうち、取り決めた交渉議題について回答(別紙のとおり)。

(発言概要)

【議題：当部における超過勤務の縮減について】

(職員団体) 今年度の超過勤務状況及び60時間を越える長時間超過勤務者の状況を聞きたい。

(当局) 平成29年6月末時点の当部における超過勤務の状況は、前年度同時期と同程度の時間数である。また、月60時間以上の長時間超過勤務者数については増加している。

(職員団体) 新規採用職員を指導する立場にある職員が業務繁忙の状況にあり、新規採用職員自身も業務の習得に苦労している。管理者による一層の目配り、気配りが必要であると考えますがどうか。

(当局) 新規採用職員には、一人ひとりに人材育成担当者を置いて指導に当たっており、業務の習熟度に配慮しながら人材育成をしていきたい。また、新規採用職員や人材育成担当者への目配り、気配りについて、引き続き、管理者を指導していきたい。

(職員団体) 超過勤務の縮減に向けて、どのように取り組んでいるのか。

(当局) 超過勤務の要因を定期的に分析し、それぞれの要因に応じた超過勤務縮減方策を実施している。具体的な取組としては、業務配分の見直しや平準化、応援体制の整備等を行っており、また、管理者が月間の超過勤務時間の見込みを立てながら業務の進行管理を行うなどの工夫をしているところである。

(職員団体) 業務運営プランの職員への説明状況を聞きたい。また、業務運営プランに変更があった場合は、しっかりと職員に説明すべきと考えますがどうか。

(当 局) 業務運営プランは、管理者と職員のコミュニケーションツールの一つとして、職場内で話し合いながら作成しており、3月中に職員への説明を終えている。  
また、業務運営プランを変更する場合には、必要に応じて職員の意見を聞くなど、円滑な業務運営に努めるよう、管理者を指導していきたい。

※文責は函館開発建設部当局（今後修正があり得る。）